

【授業目的】古来、「良き経営」は、「良き会計」からといわれている。これは変化の激しい環境の中で、企業が健全な経営を営み、高い収益性と流動性を維持しながら持続的に成長していくために、「会計」や「会計学」の知識が不可欠であることを示唆した含蓄のある言葉である。この講義では、今日、120万社ある株式会社企業に適用されている会計制度とそこで行われている収益・費用計算、財産計算を中心に、会計理論をわかりやすく解説。そして、受講生が就職活動を行ったり、卒業後民間企業等で働く場合、心得ていなければならない必須の「概念」や「考え方」を中心に、社会的に有用性の高い講義を目指す予定である。

【授業概要】現代における企業会計制度の基礎理論について学ぶ。

【キーワード】[キーワード]

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】原則として2年次配当とするが、3年生も受講可能である。簿記論を履修しているか、平行履修するなら、一層楽しく、理解しやすくなる(未履修者であってもわかりやすく講義するので差し支えない。)なお、後期だけの履修では、全貌をとらえ難いので、前後期(I, II)を履修することが好ましい。

【到達目標】

1. 1 資産会計の諸問題について、理解を深める。
2. 2 負債会計(引当金, 社債など)について、会計上の問題と理論を学ぶ。
3. 3 資本会計についての会計上の諸問題と理論を学ぶ。
4. 4 収益費用計算の原理を知る。
5. 5 会計情報の公開制度と理論を学ぶ。

【授業計画】

1. 資産会計(静態論・動態論, 貨幣性資産・費用性資産, 流動・固定分類)
2. 資産会計(現金預金, 売上債権, 有価証券)
3. 資産会計(棚卸資産の取得原価と評価基準)
4. 資産会計(その他の流動資産, 自己株式等)
5. 資産会計(有形固定資産の取得原価, 資本的支出と収益的支出)
6. 資産会計(無形資産の会計と報告)
7. 資産会計(繰延資産の会計と報告)
8. 負債会計(負債の概念と分類, 社債, 引当金会計)

9. 資本会計(株主資本, 純資産, 剰余金)

10. 資本会計(設立の会計処理, 株式の発行と資本金の額, 単元株制度, 種類株式, 資本金と準備金の額)

11. 資本会計(合併会計, 株式交換, 株式移転, 会社分割)

12. 資本会計(新株の発行, 新株予約権, 新株予約権付社債, ストックオプション)

13. 資本会計(計数の変動, 自己株式, 株主変動計算書)

14. 経営成績の計算と損益計算書(収益・費用の認識基準, 個別財務諸表と連結財務諸表)

【成績評価】小テスト, 中間試験, 期末試験の平均による。

【再試験】行わない

【教科書】

- ◇ テキスト 広瀬儀州著「財務会計」中央経済社
- ◇ 参考書 飯野利夫著「財務会計論」同文館

【参考書】[参考資料]

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218472>

【連絡先】

- ⇒ 三木(090-8974-6397 mickey@mail.kbn.ne.jp)
- ⇒ 西村(総合科学部1号館2階中棟(2215), 088-656-7171, t-nishim@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL(オフィスアワー: 毎週月曜日 12:00-16:00 経営組織論研究室(2215), それ以外の時間でも事前にメールで連絡をいただければ対応できます。2010年4月以降は、総合科学部1号館3F中棟になります。)

**Target)** 古来、「良き経営」は、「良き会計」からといわれている。これは変化の激しい環境の中で、企業が健全な経営を営み、高い収益性と流動性を維持しながら持続的に成長していくために、「会計」や「会計学」の知識が不可欠であることを示唆した含蓄のある言葉である。この講義では、今日、120万社ある株式会社企業に適用されている会計制度とそこで行われている収益・費用計算、財産計算を中心に、会計理論をわかりやすく解説。そして、受講生が就職活動を行ったり、卒業後民間企業等で働く場合、心得ていなければならない必須の「概念」や「考え方」を中心に、社会的に有用性の高い講義を目指す予定である。

**Outline)** 現代における企業会計制度の基礎理論について学ぶ。

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Notice)** 原則として2年次配当とするが、3年生も受講可能である。簿記論を履修しているか、平行履修するなら、一層楽しく、理解しやすくなる(未履修者であってもわかりやすく講義するので差し支えない。)なお、後期のみの履修では、全貌をとらえ難いので、前後期(I, II)を履修することが好ましい。

**Goal)**

1. 1 資産会計の諸問題について、理解を深める。
2. 2 負債会計(引当金, 社債など)について、会計上の問題と理論を学ぶ。
3. 3 資本会計についての会計上の諸問題と理論を学ぶ。
4. 4 収益費用計算の原理を知る。
5. 5 会計情報の公開制度と理論を学ぶ。

**Schedule)**

1. 資産会計(静態論・動態論, 貨幣性資産・費用性資産, 流動・固定分類)
2. 資産会計(現金預金, 売上債権, 有価証券)
3. 資産会計(棚卸資産の取得原価と評価基準)
4. 資産会計(その他の流動資産, 自己株式等)
5. 資産会計(有形固定資産の取得原価, 資本的支出と収益的支出)
6. 資産会計(無形資産の会計と報告)
7. 資産会計(繰延資産の会計と報告)
8. 負債会計(負債の概念と分類, 社債, 引当金会計)
9. 資本会計(株主資本, 純資産, 剰余金)

10. 資本会計(設立の会計処理, 株式の発行と資本金の額, 単元株制度, 種類株式, 資本金と準備金の額)
11. 資本会計(合併会計, 株式交換, 株式移転, 会社分割)
12. 資本会計(新株の発行, 新株予約権, 新株予約権付社債, ストックオプション)
13. 資本会計(計数の変動, 自己株式, 株主変動計算書)
14. 経営成績の計算と損益計算書(収益・費用の認識基準, 個別財務諸表と連結財務諸表)

**Evaluation Criteria)** 小テスト, 中間試験, 期末試験の平均による。

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)**

- ◇ テキスト 広瀬儀州著「財務会計」中央経済社
- ◇ 参考書 飯野利夫著「財務会計論」同文館

**Reference)** [参考資料]

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218472>

**Contact)**

- ⇒ 三木(090-8974-6397 mickey@mail.kbn.ne.jp)
- ⇒ Nishimura (総合科学部 1号館 2階中棟 (2215), +81-88-656-7171, t-nishim@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週月曜日 12:00-16:00 経営組織論研究室 (2215), それ以外の時間でも事前にメールで連絡をしてもらえれば対応できます。2010年4月以降は、総合科学部 1号館 3F 中棟になります。)